

### 寄せられてくるカンパ

#### 心から感謝の意を表します

このほど、大阪市浪速区浪速町でいただきました。  
西二丁目五、入船アパート六号に また、被災以来「植樹人間」と  
お住まいの、松浦良和さんから五 して、十年余生き続けた信鳥重信  
万五千円のカンパをわざわざ送っ さんが、ついに意識を回復するこ  
となく非情な死を遂げた際には、 大牟田地評加盟組合の労働者仲間  
の皆さんから、何と十六万七千二  
百三十七円にもなる連帯のカン

が寄せられました。  
私たちは働く仲間のごような  
暖い連帯の支援に対する感謝を忘  
れず、いっそう命と権利を守る闘  
いを強めることにならなければな  
りません。  
とまれ紙上を通じ、心から感謝  
の意を表明させていただきます。

## 三川鉦鉦長室事件、14回公判開廷

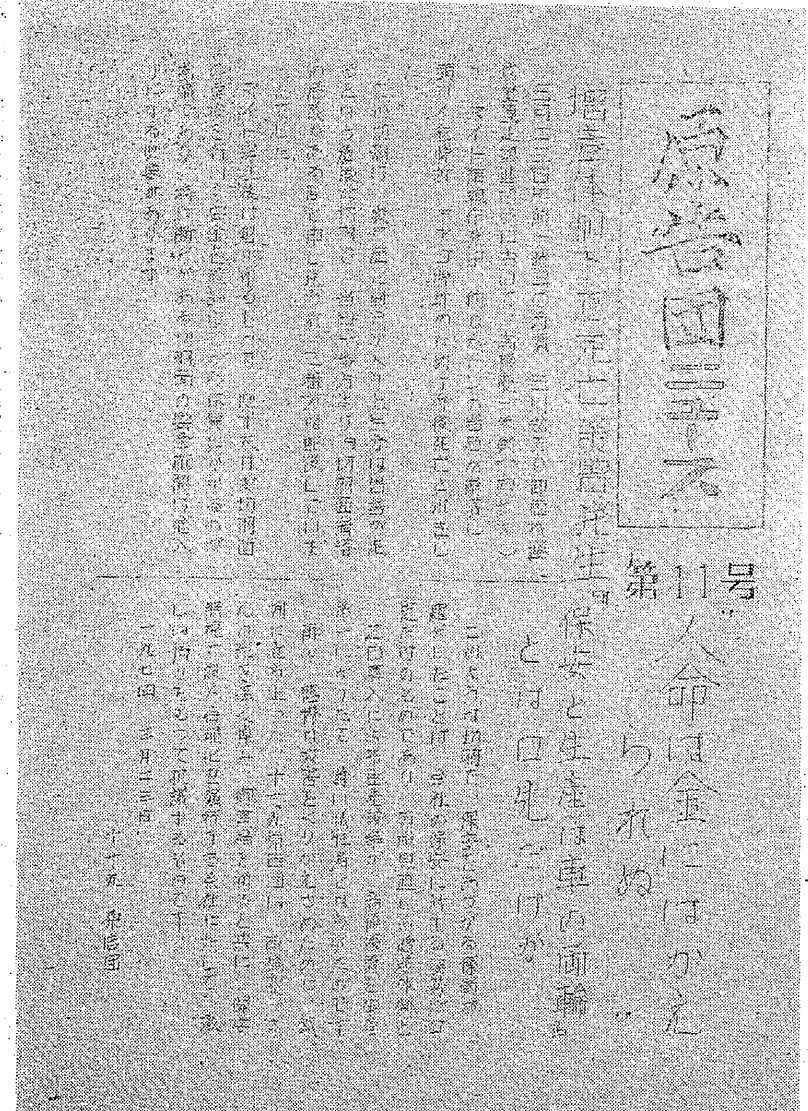
# 正しかつたその行動

## 組合の三証人証言台に

三川鉦鉦長室事件裁判(沖克太郎現三川指導部長が起訴された、第十四回公判は、去る九日福岡地裁の法廷で開廷。この  
目三人の組合側証人(石原政子さん、小川絃志さん、西村保さん)が証言台に立ち、沖指導部長のその日の行動の正しか  
たことを明らかにした。まさしく、沖指導部長を起訴した福岡地方検察局の態度の不当こそ、重大だ。

古 原 給食センターの女の 東出入口口にもってききました  
古 原 それはおあなた一人  
西 村 はい。ほかにはだれ  
もおらんかったと思えます。  
古 原 で、職制の人はどう  
しましたか。  
西 村 笑っていました。  
古 原 それからどうしまし  
ましたか。  
古 原 今年になってからの物価高。ま  
すま頭のいたい事です。安サ  
ラりでは、働いても働いてもお

この目行なわれた三証人の証言  
のうち、一つの核心をついた西村  
証言(抜粋)は次の通りである。  
古 原 昭和四十六年七月当  
時の勤務箇所は。  
西 村 万田作業所でした。  
古 原 傷害等級は何級です  
か。  
西 村 七級です。  
古 原 当時万田作業所に  
は、何人か入りの患者が働いて  
ましたか。  
西 村 五十人くらいです。  
古 原 勤務時間は。  
西 村 午前八時から正午ま  
ででした。  
古 原 あの日、三川鉦には  
何時頃きましたか。  
西 村 覚えていません。  
古 原 何のために、三川鉦  
へ行きましたか。  
西 村 その日から突入予定  
のハンストへの激励と、続けられ  
ておりました。



原告団ニュース。発行回数を重ねてゆくと共に  
内容充実。闘いをもりあげている。

五七、四〇〇〇円の  
たとえ満額でも……  
三川十一分会 小川絃志  
仕組まれた物不足。それに質し  
め、売り惜しみ、便乗値上げが  
ついでに、三川大爆発裁判原告団が  
発行している新聞「原告団ニ  
ュース」は、常にさまざまなし  
い記事が読む者をくわえてい  
る。ご希望の方は、三池労働組  
気付で同原告団に申しこみを  
えるMまで。

西 村 急に顔の色が変り、  
古 原 そのとき、戸は開か  
なかに人が寄ってきたでもん  
ね。  
古 原 その頃、あなたの後  
ろに人はいましたか。  
西 村 いました。CO患者  
を証言、以後のことについては  
覚えていないが、とにかく自分が東  
出入口口には一番早かったこと  
を明らかにし、会社側の証言は真  
実性をうしなした。  
なお検察側証人の証言は、これ  
まで沖現三川指導部長が早くか  
ら、鉦鉦長室出入口口にもってき  
て暴行を働いたこと、あつてもし  
いことをデッチあげてきた。  
古 原 とここで、あなたご  
自身で、出入口口の戸を開いたこ  
とを証言、以後のことについては  
覚えていないが、とにかく自分が東  
出入口口には一番早かったこと  
を明らかにし、会社側の証言は真  
実性をうしなした。  
なお検察側証人の証言は、これ  
まで沖現三川指導部長が早くか  
ら、鉦鉦長室出入口口にもってき  
て暴行を働いたこと、あつてもし  
いことをデッチあげてきた。

### 手紙

毎日、大変御苦労さ  
んです。皆様おかわり  
ごさいませんか。  
私も体の具合が悪か  
ったのですが、少しはよくなって  
来ました。  
今年になってからの物価高。ま  
すま頭のいたい事です。安サ  
ラりでは、働いても働いてもお

## COの後遺症と共に 体に流れる三池の血

### CO患者(愛知県在住) 薦田勘一

六月は参議院議員の選挙です  
が、それから知事、地方議員選  
び。それだけに、共に頑張って行か  
ましよう。  
それにしても、私達CO患者の  
病状は、どんなにいてもわかつ  
てもならない。腹が立つてどうに  
もなりません。私達自身、命ある  
かぎり闘っていかねばなりません。  
前進しようではございませ  
んか。  
自分の体内にはCOと血があり  
三池労働者・家族の血が流れて居  
ります。  
皆様方の御健康を祈り上げま  
す。  
いつまでもな、薦田勘一は、昭  
和三十八年十一月九日の大爆発の  
ためCO患者となられた方で、停  
年退職後「愛知県川之江市妻鳥町  
中一四六一」に移住されま  
したが、相変わらず続くCO後遺症  
のため悩みながら暮らしていら  
れます。心から自愛のほどを祈  
っております。

### 患者消息

いま熊大病院、九大病院、久留  
米大病院、大牟田地評療養所など  
に多数の長期療養CO患者が入院  
しております。しかし労災補償をす  
でに打ち切られたり、またそのう  
えすでに停年退職したりした患者  
のなかから、そぞろく症状が悪化  
入院者がうちついでいます。  
今大牟田地評療養所には、境  
瑞詞さん、伊藤正人さん、吉田順  
義さん、元谷教夫さん(以上停年  
退職者)、塚本美治さん(万田作  
業所)、沢田丈夫さん(新港作業  
所)、松藤末雄さん(運炭場)な  
どが再入院、治療に当たって  
いると聞きます。

坑外造成現場に働くCO患者の  
平均賃金は、六万二千円(昭和四  
十八年十月の実績)で、三池労組  
三川指導部所属坑内組合員の平均  
賃金よりさらに三万円以上低く、  
全産業平均より二万七千円少な  
い。  
炭鉱労働者の賃金より、さらに  
二万五千円安い三池炭鉱の賃金実  
態ですから、襲いかかる狂乱物価  
の直撃にCO患者は、三重の苦し  
みを背負わされています。  
このような生活苦を解決するた  
めに、CO患者にとって七四春闘  
は、炭労が要求する五万七千四百  
円の満額獲得はもちろんだら、前取補  
償の要求がいよいよ切実なものとな  
っています。